

“光と陰”

中原中也の世界

世界中が迷っている。人々が忘念の善性を失い、快活の徳を
忘れたためだ。
(中也日記より)

長い間、中也を避けて来た自分が、あるきっかけがあって中也の詩に曲をつけた。
中也は、生きることに不安を持ち続けて生きて来た私に大きな確かな力を与えてくれた。

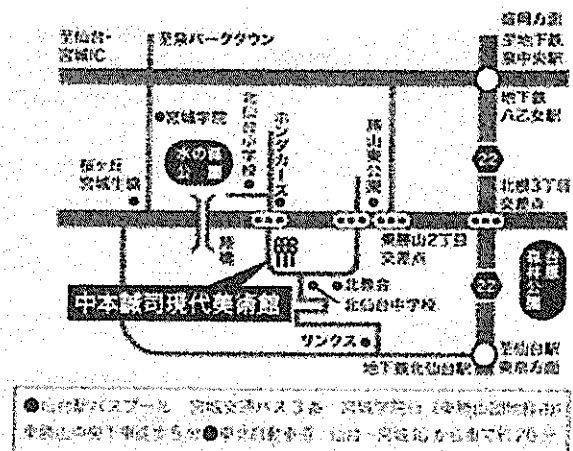
作曲と絵画による

飴屋善敏展

——“光と陰” 中原中也の世界——

2010年11月13日(土)～23日(火) 10:00～18:00

後援： ● 中原中也記念館



中本誠司現代美術館
museo de arte contemporaneo de seishi nakamoto

〒981-0923 仙台市青葉区東勝山2-20-15 TEL&FAX 022-272-7100
http://www.seishi-nakamoto.com office@seishi-nakamoto.com

作者プロフィール

あめやよしとし
飴屋 善敏

昭和7年(1932)9月 岩手県一関市生まれ

宮城県塩釜高等学校 卒業

ベルカント唱法をイタリアのアリゴ・ポーラ氏に、指揮法をドイツのハンス・ヨワヒム・コロロイター氏に、ウィーン演奏法をヨゼフ・モルナール氏に師事。

元宮城教育大学教授「身体表現(演奏法)の研究」。
作品「夢」(書)は、シャジャ・アラブ首長国連邦スルタン・シャイク王のコレクションに収蔵されている。

なかはらちゅうや
中原 中也

明治40年(1907)4月 山口市湯田温泉生まれ

文学に耽って中学を落第。

文学を志して京都、東京へと移り、詩人として生活を送る。『四季』『歷程』『文学界』などの雑誌に詩を発表。生前唯一の詩集『山羊の歌』と、没後刊行された詩集『在りし日の歌』があり、ランボーほかフランス詩の翻訳も手がけた。

山口への帰郷を望みながらも30歳で鎌倉にて死去。魂に響く詩を数多く書き残した。近代詩人として文学史上に名を刻み、幅広い年代層に支持を得ている。

飴屋先生がつくった歌曲と絵画のコラボレーションにより、聴覚と視覚から、中原中也の世界を体感していただけます。

中也歌曲の流れる空間の中での絵画作品の鑑賞と、また、作者による中也の「光と陰」についてのスピーチもお聴きください。

schedule

◇特別演奏会と講和の会

☆11月13日(土)P3:30～アフタヌーンティーパーティー(会費:1200円)

☆11月20日(土)P5:00～スナックパーティー(会費:2000円)

☆11月21日(日)P1:00～ランチパーティー(会費:1500円)

☆11月23日(火)P5:00～フィナーレパーティー(会費:4000円)

※下記の連絡先へ事前申込みをお願いいたします。

◇演奏時間:午前11時30分～・午後3時～・午後5時～

◇作者在籍日:11月20日(土)P1～3:00、21日(日)A10～P0:30 以外は在館

おねがい… 作者にお会いになりたい方や、作者のお話をお聞きになりたい方がいらっしゃいましたら、電話にてその旨をお伝えいただき、お時間のお約束をとられてからお越しいただけますとよろしいかと存じます。
また、開館時間の10時～18時にお仕事やその他のご都合でいらっしゃれない方も、ご連絡をいただければ、ご都合のよろしい時間にお待ちいたします。

連絡先:080-7018-4383

080-7018-4312

090-7521-0110

主催: NPO 法人 創る村



宮城県東松島市新東名4丁目6-1

TEL 0225-88-3793

FAX 0225-88-4118